



静内ロータリークラブ会報

2015～2016年度 <会長>福田 義信 <幹事>土屋 祐喜
創立 1971年(昭和46年)6月28日

2016年(平成28年)6月29日 日本年度 第47回最終例会通算2193回例会

≪ 前回例会記録 第46回(通算2192回) 2016年(平成28年)6月22日 ≫
会員数 68名 出席免除会員2名 出席38名 欠席29名 出席率56.06% 前回修正77.27%

会長の時間

北電静内水力所長・新谷会員の釧路支店栄転に伴いお祝いを兼ねて送別会を開きました。多くの会員のご参加ありがとうございました。新谷会員の今後のご活躍とご健勝祈念申し上げます。

先週はポールハリスの事についてお話しましたが、今日は日本のロータリーの父と呼ばれている米山梅吉と米山記念奨学会についてお話しします。米山記念奨学事業は全国のロータリアンからの寄付金を財源として日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し支援する国際奨学事業です。将来日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍しロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事が事業の使命です。

1952年東京RCは日本全国のロータリークラブの共同事業として発展させ1967年に文部科学省を主務官庁とする財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。50年の歴史を持ち世界に類を見ない日本ロータリー独自の合同奉仕活動となっております。米山奨学生の特徴はその規模です。採用数は年間800名で、世界規模で展開しているロータリー財団、国際親善奨学生の年間採用数と同じです。これだけ外国人留学生支援している奨学団体は事業規模採用数ともに国内民間最大です。これまで累計で2万人を超え世界120の国と地域に及びます。

日本のロータリーの父と呼ばれた米山梅吉は1865年慶応4年2月4日生まれこの年3月14日に五箇条の御誓文発表・明治改元された頃で16歳で上京し東京英和学院で学び静岡県泉村大地主の米山家の養子として入籍し米国オハイオ州ウエスレアン大学・ニューヨーク州シラキュース大学で法律学びました。帰国後勝海舟師事し29歳で米山家1人娘はると結婚後三井銀行入行し42歳で常務取締役役に就任50歳の時日本政府特派員として渡米した折三井物産・福島喜三次とダラスRC会員通じロータリークラブを知り感銘受け1920年に東京RC設立し初代会長となりその際の初代幹事は福島喜三次でした。ポールハリスの著書の翻訳書を出版しその最後に凡そロータリー会員は身分の高下と貧富に関係なく人種に拘らず宗教家たるを問わず政治家なるを論ぜず寛大・忍耐・正義・親切・友誼・親愛を我らの知る最善の小世界の住人に支給している人々に好意を伝える使節として終始するのでであると記しております。

報 告

幹 事

- ロータリー米山記念奨学会寄付金納入明細書・財団寄付金納入明細書(5月30日現在)届いています
- 東京麹町RCより50周年記念事業としての冊子が届いております
- 洲本RCより礼状が届いております。

親睦委員会

【ニコニコBOX】

- 藤原真二名誉会員； ありがとうございます！
- 山口（俊）会員； コミュニティー運動協議会総会の模様の新聞掲載・新ひだか町社会福祉協議会より会長賞受賞。 囲碁大会での新聞掲載。
- 新谷会員； 28日付で釧路に転勤致します。お世話になりました！
- 真下会員； 新聞掲載



【藤原真二名誉会員のご挨拶】

皆様にお会いできて大変うれしく思っております。ロータリーの友や会報を届けて頂き、会報の中でクラブの仲間のコラムについて感銘受けました。お互いを知るうえでは良い事だと思いました。見えない隠れた力があつたからこそ、ガバナーを輩出し地区大会を成功させ、45周年を迎える原動力となったと考えます。今後ともクラブの発展を祈念しております！



藤原名誉会員におかれましてはご出席賜り感謝申し上げます。
またの例会の出席お待ちしております。御身体にはくれぐれも御自愛ください。

プログラム

吉田会員卓話

花には色々な作用があり花療法というのがあります。それは・・・



東洋医学では、人の体を流れる「気」が滞ると、むくみやはれ、痛みなどが出、さらに病気にかかりやすくなると考えます。そこで花を育てたり飾ったりすることにより、その花のもつ「気（生命エネルギー）」で心と体を健康な状態にたもとうというのが花療法です。

そのベースには中国の哲学といわれる「陰陽五行説」があります。これは自然界のあらゆるものは「陰」と「陽」の要素（もしくは中間的な要素「中庸※ちゅうよう」）をもち、バランスをとって成り立っているものであり、さらに万物は五つの物質「木」「火」「土」「金」「水」からできているとし、その五つが互いに影響し合いながらバランスをとっているという考え方です。花療法は五行説の中の五臓と五色を花におきかえ、さらに花の色、香り、形を考慮し症状別に分類したものです。

色は花の種類で体の調子を整えたりします。吉田会員には花の種類を具体的にあげてお話頂きました。詳細につきましては別添資料をご覧ください。ありがとうございました。